

高校学力向上推進プロジェクト研究校報告書（平成24～26年度）

兵庫県立小野高等学校

1 評価指標

数値目標	「授業力向上」「すべての生徒の学力向上」「進路実績向上」 『A』評価（学校評価アンケートにおいて、「授業に満足」「授業を理解」「朝学習の効果」「課題提出」「補習効果」「第一志望届の効果」「担任・主任との面談」各項目平均3.2以上／4.0）を目指す。					
評価方法	年2回の学校評価を活用					
調査結果	調査内容と結果					
	①（調査内容）学校評価「あなたは授業の内容に満足していますか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	2.8	コメント
	H25		平均3.2以上		3.0	
	H26		平均3.2以上		3.0	
	②（調査内容）学校評価「あなたは授業の内容が理解できていますか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	2.8	コメント
	H25		平均3.2以上		2.8	
	H26		平均3.2以上		2.8	
	③（調査内容）学校評価「朝の学習は1日のスタートに有効ですか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	2.8	コメント
	H25		平均3.2以上		2.8	
	H26		平均3.2以上		2.8	
	④（調査内容）学校評価「課題は遅れずにきちんと提出していますか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	3.0	コメント
	H25		平均3.2以上		3.1	
	H26		平均3.2以上		3.1	
	⑤（調査内容）学校評価「(2, 3年のみ) 第1志望届は進路意識を高めるのに役立っていますか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	3.1	コメント
	H25		平均3.2以上		3.0	
	H26		平均3.2以上		3.1	
	⑥（調査内容）学校評価「(3年生のみ) 放課後補習は進路実現に役立っていますか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	3.3	コメント
	H25		平均3.2以上		3.1	
	H26		平均3.2以上		3.2	
	⑦（調査内容）学校評価「主任面談や担任との面談は進路指導に役立っていますか。」					
	H24	目標	平均3.2以上	実績	3.2	コメント
	H25		平均3.2以上		3.2	
H26	平均3.2以上		3.2			

2 数値目標における成果と課題

・目標達成は2項目だったが、3.1が2項目、3.0が1項目でこの3年間ではもっともポイントが高い。

・授業の満足度は年々上がり、今年度は3.0であった。特に3学年平均は3.2であった。学年が上がるにつれポイントが上がるのはよい傾向であるが、1学年から満足度を上げるよう努力したい。授業の理解度においても同じ傾向である。

・朝、始業前に10分間行っている朝の学習は、各教科において授業の進捗や模試の日程、入試の傾向等見ながら教材を作成している。これも学年が上がるにつれ、積極的に取り組むようになり、3学年平均は3.1ポイントで最も高い。

・逆に学年とともにポイントが下がるのが課題提出である。1年生の中間評価は3.4ポイントだが、今回の全体の平均は3.1だった。量も多くなり、内容も難しくなるのが原因と考えられるが、今後の課題である。

・第1志望届は一時教員間でも指導の差が出たりしていたが、進路指導部を中心に共通理解を図り、ポイントが上がってきた。目標の数値には一歩及ばなかったが、3.1であった。

・放課後補習と面談については、例年特に力を入れており、目標が達成できた。

3 高校学力向上推進プロジェクト事業を全体を通しての成果と課題

(成果)

・授業研究会では活発に意見が出て、授業改善に活用できた。また、大学の先生からの助言も大変参考になった。

・外部講師を招喚しての研修会は良い刺激になり、各教員の研究意欲がさらに増したと思われる。それが、生徒のアンケートにも表れている。

・生活実態・学習状況調査により、細かい生徒の動きがわかり、生徒指導の参考になった。

(課題)

・他校を訪問した際、特徴的な取り組みがあった場合、本校でも導入すること。

・教員同士が話し合う機会を現在よりも増やし、授業改善や指導体制の見直しを行うこと。